

令和4年度 第2回辰野町総合教育会議 議事録

【日時】

令和4年11月14日（月）

開会 午前11時00分

閉会 午前12時10分

【会場】

役場 第6会議室

【出席者】

13名

(辰野町関係者)

辰野町長 武居 保男

辰野町副町長 山田 勝己

(辰野町教育委員会)

教育長 宮澤 和徳

教育長職務代理 飯澤 隆

教育委員 垣内 由佳

教育委員 関 政彦

教育委員 萩原 多恵子

(事務局関係)

総務課長 加藤 恒男

こども課長 小澤 靖一

生涯学習課長 福島 永

こども課課長補佐 田中 香織

学校教育係長 翠川 俊一

学校教育係 宮澤 司

【傍聴者】

17名

【次第】

1. 開会
2. 町長挨拶
3. 教育長挨拶
4. 協議及び意見交換
 - (1) 町が目指す教育ビジョンについて
 - (2) 川島小学校統廃合実施方針について
 - (3) 町内小学校の教育環境について
 - (4) 保育園関係について
 - (5) 生涯学習関係の事業について
5. まとめ
 - (1) 町長
 - (2) 教育長
6. 閉会

【議事録】

1. 開会

<加藤総務課長>

それでは次第に沿って始めさせていただきます。

2. 町長挨拶

ご多忙のところ第2回総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。さて、皆さまご承知のことかと存じますが11月1日にほたるの里中学生議会がありました。辰野中学校から8名、両小野中学校から2名の生徒が壇上に上がりました。議員として立派に一般質問をしました。道路、交通問題、自然保護、町の活性化等様々な分野からの質問がありましたが、それぞれの生徒が丁寧に事前の調査を行い、地域の課題に沿った内容で質問をいただいたことに感心いたしました。当日ボランティアセンター前で披露した通学路の時計のように早期に実現できるもの、対応が難しいものとありますが今後の町政、まちづくりに役立てていきたいと思えます。さらにご参加いただいた生徒の更なる成長と今後の活躍を期待するところであります。

さて、今回の協議事項は町が目指す教育ビジョン、川島小学校統廃合実施方針、町内小学校の教育環境、保育園関係、生涯学習関係の事業についての5項目です。特に川島小学校統廃合の実施方針については、長い間重要であった課題に区切りをつけて教育環境の更なる充実を図るための方針であり、実施にあたり不可欠な児童への配慮事項を明確にして、統合に至るまでの間、

少しでも児童やご家庭の不安をやわらげ、円滑な移行を図る為のものでありますのでパブリックコメントの結果報告と合わせて細部にわたり活発な協議をお願いいたします。

本日の会議で教育委員の皆さまと様々な教育の課題と目指す姿など共有し、連携して教育施策を推進してまいりたいと思いますので忌憚のないご意見と感想をお聞かせください。本日はよろしくをお願いいたします。

3. 教育長挨拶

大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。また、傍聴の皆さまも本日はありがとうございます。

コロナ禍も3年目に突入しましたがまだまだ長いトンネルの出口は見えません。7月下旬頃から減少してきました感染者数もここに来て徐々に増加傾向になり、まだまだ収束の目途は立ちません。しかし学校で学ぶ児童生徒は毎日、目を輝かせて教育活動を行っています。町内小中学校では10月に川島小学校ランニング大会、辰野中学校が大城山強歩大会、今月入っては辰野西小学校、辰野東小学校、辰野南小学校がそれぞれ校内マラソン大会を迎えます。秋の風物詩としてここ数年定着し、休日には荒神山などで小学生が黙々と練習している姿が見られるようになり、走ることに興味を持ち始めた子どもたちが年々増えているような気がします。コロナ禍であっても委縮せず、目標を持って頑張る姿があり大変心強く感じています。

さて、今日の総合教育会議は辰野町が目指す教育ビジョン、川島小学校の統廃合に関わって、小中学校保育園の関係、中学校の部活動の地域移行等の協議が行われます。その中で川島小学校の統廃合に関わっては、パブリックコメントを実施しました。その結果について報告させていただきます。町民の関心も高く多くの意見をいただきました。ここでいただいたご意見を参考にしながら児童への配慮事項を最終決定させていただき、統合への円滑な移行を行えるようにしたいと思います。また、より良い教育行政推進のための辰野町教育ビジョンについても今回お示しいたしました。いただいた意見をベースにより良いものを作り上げていきたいと考えています。教育委員の皆さんには資料をご覧になったの感想、周囲からの意見も含め忌憚のない発言をいただければと思います。

様々な課題山積の町、教育行政でございますが、だからこそ町長と一層連携をし、目指す方向を一致させ共に歩んでまいりたいと思います。

4. 協議及び意見交換

(1) 町が目指す教育ビジョンについて

- ・宮澤教育長より資料「辰野町が目指す教育ビジョン」について説明。

(2) 川島小学校統廃合実施方針について

- ・小澤こども課長より資料「川島小学校統廃合実施方針（案）」及び「川島小学校統廃合実施方針（案）に対する意見（パブリックコメント）とその回答方針」について説明。

<加藤総務課長>

ただいま宮澤教育長、小澤こども課長よりそれぞれ説明のあった教育ビジョン及び川島小学校統廃合実施方針（案）へのパブリックコメントについて出席の皆さまからご意見、ご質問をいただきたいと思います。

<飯澤教育長職務代理>

長い長い話し合いがなされてこういう結果になり、苦渋の決断をしているのではないかと思います。この方向については特に意見はありませんが、これから川島小学校の児童たちが辰野西小学校に行くことになったときに考えていかなければならないこと、準備しなくてはならないことがあると思います。音楽会に参加するなど交流をしています。少人数で子どもと子どもの関わりというのをしっかりと機会を設けて、そしてスムーズに溶け込んでいけるような状況を作っていくということが大事ではないかと思います。同時に新しい学校に移行したときに子どもたちをフォローしていかなければいけないと思います。

また、廃校となる川島小学校のことがクローズアップされていますが、受け入れ先の辰野西小学校からの視点でも見ていかなければならないと思います。あくまでも吸収合併という感覚ではなくて新しい辰野西小学校を作るという感覚で、単に少人数の転校生を受け入れるのではなくて、新しい学校を作っていく感覚が大事ではないかと思います。そういった部分も含め、大事にしながら進めていくべきではないかと思います。一人ひとりの子どもたちが明るい顔で元気に学校に通える状況を作っていきたいと強く思います。

<垣内委員>

色んな意見をいただいて、3年間の期間があつて子どもたちが川島小学校の児童が辰野西小学校に来て様々な交流ができる時間があると思うの

でその時間を有意義に使っていただいてお互いに良い方向に進めれば良いと思います。

<関委員>

パブリックコメントをいただきまして非常に貴重な意見があると思いましたが、今まで地元の説明会や保護者の懇談会等でこういったものをずっと繰り返してきて機会がなかったわけではありませんが、地元の皆さま以外の町民からの意見がたくさん寄せられて非常にありがたいなと思いました。やはり視点が変わると考えが変わって全体のご意見がパブリックコメントに反映されているのではないかと思います。当然川島小学校の子どもたちへ統合していく中での配慮をしていくわけではありますが、それに合わせて町全体の子どもたちが良い環境で教育を受けられることを見直し、本日の冒頭でもありました教育ビジョン等を改めて考えながら進んでいければよいと思います。

<萩原委員>

教育委員として川島小学校統廃合実施方針（案）を支持する立場にありますが、この方針が12月に議会で採決された場合には統合という形で学びの環境が大きく変わるお子さんが出るということになります。お子さん本人はもちろん統合先、迎え入れるお子さんにとっても新しい環境が皆にとって良い学びになるように私たちの知恵をしっかりと絞って行動していかなければならないと改めて感じました。

<宮澤教育長>

4人の委員の皆さまから貴重な意見をお聞きしました。このような中で辰野西小学校の方も受け入れる側として環境をきちんと整備していかなければならないという話をいただきました。これはごもつともと思います。新しい辰野西小学校を作る必要があると思います。先日、辰野西小学校で音楽会がございました。初めて川島小学校の児童も招待して1ステージありました。全校児童が参加し辰野西小学校の児童の前で合奏をいたしました。その雰囲気を見ていましたが、辰野西小学校の児童は特別視するわけでもなく素直に受け入れて大きな拍手を送っていました。川島小学校の校長先生に児童からの感想をお聞きしましたが、大変緊張したけれどみんなの前で演奏できて自信がついた気がする、といったコメントをいただきました。この音楽会にはもう一人伊那養護学校へ通っている児童で副学籍の児童も来ていました。この児童は最初なかなかクラスに入れませんでした

が、クラスの子どもたちが手を振ったりして次第に溶け込んでいって音楽会が終わるころにはクラスの中に入ってどんな話をしていたかわかりませんでした。馴染んでいる所を見て、子ども達の柔軟性ってすごいと感じました。十分に配慮していかなければならないと思います。

<武居町長>

教育委員の皆さんご意見ありがとうございました。私もお聞きして思うところは、やはり川島小学校を残していただきたいという考えの方がいらっしやいますし、一方で町全体としてこれからの教育のために方針に沿ってやっていくべきだという考えの方もいらっしやいます。改めて思ったのは、飯澤委員もおっしゃっていましたが、小規模校を統廃合するのではなく新しい学校を作るという発想で考えていかなければなりませんし、そもそも子どもの未来や将来をないがしろにしたいと思っている人は誰もいなくて、子どもたちのことを考えての選択だったと思います。ここにきて1つの方向性を示させていただいています。私自身も子どもの未来、将来を否定しているわけではなくてより良い教育環境を作っていくことが責任であると思いました。

<加藤総務課長>

ありがとうございました。この項目の中で特に本日の会議で統合の時期について意識合わせをしなくてはならないと感じます。パブリックコメントの中でもそれぞれの児童に配慮してという意見と逆に一刻も早く統合すべきといった様々な意見がありました。12月の定例議会に議案を提出する場合がありますと、施行日として具体的に明示をしなくてはなりませんし、それに基づいてその期間中に準備等、様々な調整事項が出てきます。よって、時期については本日一定の方向性を決めていきたいと思います。この点についておおよそ3年間ということによろしいでしょうか。ご意見をいただければと思います。

<宮澤教育長>

3年間というところからかが非常に大きな関心事であると感じます。昨年度、保護者との説明会でも2から3年と繰り返し説明してきました。今回の実施方針では2から3年間ではなくて3年間と明記されています。川島小学校と辰野西小学校の間では交流が始まっています。今年4月の人事異動でも先生方の配置も考慮させていただいて校長先生の配置、一般の先生の配置も辰野西小学校のベテランの先生に川島小学校へ行ってい

ただいて、両小学校の橋渡しをしていただく役目もお願いしてあります。一方県教育委員会とも話をする中で今回の統合に関わって再来年度、諸調整に関わる教員を1人配置すると確約を先日いただいております。そのようなことを考えていくと3年というのは今年度含めて3年間として令和6年度末とし、令和7年4月1日から統合ということで良いと思います。

<加藤総務課長>

ありがとうございました。学校の関係は先生方の配置や様々な段取りが必要になります。教育長の方からそういった背景を説明いただきながら本年度が4年度ですので、4年度、5年度、6年度の3年間で6年度末をもって統廃合ということになります。学校の関係については川島小学校の設置条例がありますので、この条例の廃止日をもって川島小学校を閉じる形になります。今教育長から案として挙げていただいた令和6年度末となりますと令和7年4月1日施行という議案になります。この件についてご意見ください。

<飯澤教育長職務代理>

準備期間を考えるとこれくらいの時間が必要と感じます。教育長が発言されたようにその準備期間に交流等できることをしっかりやっていただいてから統廃合という形で良いのではないかと思います。

<垣内委員>

今年度含めて3年で良いと思います。この4月から辰野西小学校から行ってご尽力いただいている先生や皆さんでやってくださっているのが良いと思います。

<関委員>

私も今年を初年度として3年間ということで結構だと思います。

<萩原委員>

私も同じく本年度を初年度として令和7年4月1日に統合ということで良いと思っています。

<加藤総務課長>

ありがとうございました。教育委員の皆さんからはそのようにご発言いただきました。町側としていかがでしょうか。

<武居町長>

考え方は多少あると思いますが、教育委員の皆さんからお考えを聞かせていただいて、我々としてもその線に沿って令和7年4月1日をもって新たな形になるというように進めていきたいと思ひます。

<加藤総務課長>

では方向性は一致したということで、令和7年4月1日施行として準備を進めていきますのでお願いいたします。

<小澤こども課長>

先ほど川島小学校統合実施方針（案）についてとパブリックコメントについて報告させていただきました。事務局としては文言の修正を3箇所と考へています。その他に実施方針（案）について教育委員会と町側から修正すべき点等があればいただきたいと思ひます。（全員異議なし）

修正箇所は項目3の①の「推進」を「継続」、項目5の「就学」を「通学」、項目2の「2. 川島小学校の統合先」を項目1として「1. 川島小学校統合実施方針 辰野町立辰野川島小学校を廃止して、辰野町立辰野西小学校へ統合します。」と修正し、それに伴い項目番号も修正しました。以上です。

<加藤総務課長>

ただいまこども課長から実施方針について説明をいただきました。これについてはパブリックコメントとして周知してありますので整次第ホームページで公開していきたいと思ひます。

(3) 町内小学校の教育環境について

- ・翠川学校教育係長より資料「町内小中学校の教育環境について」について説明。

(4) 保育園関係について

- ・田中こども課課長補佐より資料「保育園関係について」について説明。

(5) 生涯学習関係の事業について

- ・福島生涯学習課長より資料「生涯学習に関する資料」について説明。

<加藤総務課長>

5月23日の第1回総合教育会議の際に説明をいただいた様々な施設整備が順調に進んでいるという報告であったと思います。一方で部活動の地域移行についてはまだまだ国が言うことが簡単ではないと思いますので継続的な課題になると思いますので注目していきたいと思います。これらに関しては概ね経過報告をいただきました。確認事項等ありましたら出していただきたいと思います。(意見等なし)

5. まとめ

(1) 町長

本日は協議いただきましてありがとうございました。また傍聴の皆さまにおかれましてはありがとうございました。辰野町が目指す教育のビジョンや町内小中学校の教育環境と主な施策、保育園関係の現状、生涯学習関係の文化スポーツ事業等の様々な教育施策の現状と課題について良い情報交換が出来たと思います。ビジョンで掲げる基本理念に基づき、児童生徒一人ひとりの個性や特性に応じた学びを支援し、広い視野と豊かな想像力を持って力強く生き抜く力を備えた未来の人材育成を町も教育委員会も各学校と一緒に努めてまいりたいと思います。少子高齢化の急激な進行、また生活様式や価値観の多様化等変化の激しい中で将来の見通しを立てることは容易ではありません。振り返れば平成29年9月に辰野町立小中学校あり方検討委員会が提言書をまとめた折も大変なご苦勞があったと思います。本日説明のあった令和10年度以降の町立小中学校のあるべき姿についてもまた新たな検討組織も早期に立ち上げ幅広く議論をいただくこと要望いたします。川島小学校については本日協議で合意しました統廃合実施方針に従い12月の議会に令和7年4月1日を施行日とする川島小学校設置条例を廃止する条例案を提出し、採決をいただくことにしますが、今後統廃合への移行期間に辰野西小学校との交流等をしながら引き続き児童保護者が安心して通学できるよう各家庭に寄り添った丁寧な対応をお願いいたします。様々な課題がありますが今後も教育委員会と連携して教育行政を進めてまいりたいと思いますので引き続きご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。

(2) 教育長

本日は町長、教育委員の皆さま大変ありがとうございました。多くの協議事項がありましたが辰野町のより良い教育環境づくりのための意

見交換が出来たと感謝しております。今回提案させていただきました教育ビジョンは今日実施されている教育施策がわかりやすく図化したものですが、今後さらに各教育委員、学校現場や町民の方の声を聴きながらより良いものにしたいと思っています。川島小学校の統廃合につきましても方向は確認できましたがまだまだ詰めていかなければならない課題もございます。児童の学びの環境を保障する視点等、これからも連携して進めていかなければならないと思っています。令和に入って社会が大きく変化していています。そこにコロナ禍が拍車をかけ、少子高齢化も急速に進んでいます。この大きな波に対して辰野町の教育施策はどのようにしたらいいのかということですが全く経験したことがない社会に突入しております。前例踏襲がない社会でもありますので今日協議した課題以外でも幅広く協議してまいりたいと思います。先日、辰野西小学校で信濃教育会全県研究大会が開催されました。この研究大会は児童の息づかいやつぶやき、子ども同士の会話を直接見聞きして活動を直に感じ取れる距離まで近づいて授業を参観することができました。6年生の体育、マット運動の単元でしたが一人ひとりが自らの課題に挑戦し友達からのアドバイスを受け、またタブレットで自分の技を動画に撮り友達と良い点や改善点を指摘し合い、それでも難しいと判断したときはグループ全員が基礎的な練習に立ち返って徐々にコツを体で覚えていく光景があちらこちらのグループで見られる授業でした。そこには男女の分け隔てなく、また得意不得意の意識の差も感じられず、グループ全員で力を合わせて皆でより良くしていく意志を感じ、全県から参観した先生方はこの学級の良い教育環境に大変驚き、感心していました。実に良い授業でした。友達同士が真に学び合う姿を共有していく、普段から良い人間関係が築かれていることを実感しました。今日もきっと町内それぞれの学校では児童生徒の笑顔と大きな歓声が校舎内に響き渡っていることと思いますし、今日一日児童生徒はたくさんの友達と関わり、互いの息づかいを感じながら生活し、先生の指導の下でたくましく学んでいることと思っています。笑顔があふれ明日も登校したくなる学校、明日も友達と会いたくなる学校をつくる。これが私達大人の責任です。子どもたちはコロナ禍だろうと社会が大きく変化しようとして元来、学ぶ意欲を持ち伸びたいという欲求を持っております。私達はこれからも子どもたちのこのような意欲欲求を満たしてあげられるようにしなくてはなりません。今日の総合教育会議において改めて町長と教育委員会とが町の教育課題について協議し、確認することができました。大変ありがたく思っています。町長はじめ町当局、教育委員の皆さんには今

後のより良い教育施策推進のために引き続きご協力をお願いしたいと思
います。本日は大変ありがとうございました。

6. 閉会